

## 運転席-リア席の会話をストレスフリーに

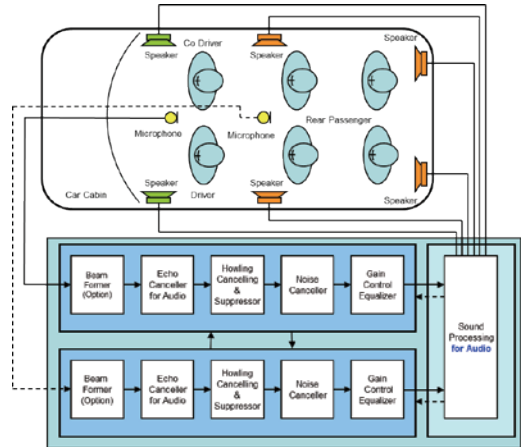
### ユーザーメリット

#### ▶ 定量的メリット

オーディオ再生中、及び走行雑音環境下での自然な前席、後席間の会話を可能にします。  
特に運転中のドライバーのストレスフリーな同乗者との会話を補助します。

#### 自動車パーツにおける想定適用部位

- ・ヘッドユニット
- ・アンプユニット



### お客様からの声

- ▶ オーディオ再生中や高速走行時の劣悪な環境下でも自然な音質、音量で会話ができる  
特に走行中に窓を開けた劣悪な環境下でも会話の品質を維持できているところが秀逸

### 採用実績

- ▶ OEM 2社 (MOP, DOP) で採用  
既設の音声認識 (VR) / ハンズフリー (HF) 用マイクを流用した片方向 (1-way) ICCを実現

### その他製品情報

競争優位性	劣悪環境下でのロバスト性能が高い (知見のある御客様の声) 実績、定評のあるHFとの一体パッケージ、既設のマイク、スピーカを流用可能なため、コストUP無し 音量の自動最適制御等はスタンドアロンで測定を行い、判断するため、単独追加機能としても自由度が高い
サステナビリティ	運転者の会話労力負担軽減により、事故件数の減少 ➡ 社会的・経済的コスト削減や車両・部品の廃棄物削減
背反懸念事項	既設マイク、スピーカが流用可能な反面、その性能、設置位置に依存する場合も有り。双方向 (2-way) ICCでは場合により、後席用マイクの設置が必要となるため、コストUP有り